



東電の株主代表訴訟、 過去最高額の 13 兆円賠償命令から考える経営責任

- ◇ 講 師：奥山俊宏氏（上智大学教授／ジャーナリスト 元朝日新聞編集委員）
- ◇ 日 時：2023 年 3 月 2 日（木）18:30-20:00
- ◇ 場 所：東京都中央区銀座 1-19-13 丸美屋ビル 6F

講演内容：東京電力の株主が、福島原発事故をめぐり 5 人の旧経営陣に対して会社に 22 兆円の賠償を求めた裁判を起こしていました。これに対し東京地方裁判所は、昨年 7 月 13 日、元会長ら 4 人に対して、賠償額としては国内で過去最高額となる 13 兆 3000 億円余りの支払い命令を下しました。一方、業務上過失致死罪で強制起訴された裁判では、今年の 1 月 18 日、高裁は地裁に続き無罪としました。断片的な報道だけでは全体像がつかめません。そこで、原発事故直後から東電の記者会見に出席し、関係者への取材、裁判を追い続けてきたジャーナリスト奥山俊宏氏に解説いただきます。東電の経営者はどこで判断を誤ったのか、原因や責任はどこにあるのか皆さんと共に考えます。



＜主な内容＞

- ・株主代表訴訟とは（過去の他事例から）
- ・東京電力の株主代表訴訟について刑事裁判との共通点と相違点
- ・旧経営陣は裁判でどのように説明し、裁判長はどう反応したか
- ・供述調書と尋問から見えた原発力発電を担う企業に求められる経営力

《講師プロフィール》奥山 俊宏氏（おくやま としひろ）

1966 年、岡山県生まれ。1989 年、東京大学工学部原子力工学科卒、同大学新聞研究所修了、朝日新聞入社。水戸支局、福島支局、東京社会部、大阪社会部、特別報道部などで記者。『法と経済のジャーナル Asahi Judiciary』の編集も担当。2008 年から早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズムコース非常勤講師。2013 年、朝日新聞編集委員。2022 年、上智大学教授。著書『秘密解除 ロッキード事件田中角栄はなぜアメリカに嫌われたのか』（岩波書店、2016 年 7 月）で第 21 回司馬遼太郎賞（2017 年度）を受賞。同書に加え、福島第一原発事故やパナマ文書の報道も含め、日本記者クラブ賞（2018 年度）を受賞。「後世に引き継ぐべき著名・重要な訴訟記録が多数廃棄されていた実態とその是正の必要性を明らかにした一連の報道」で PEP ジャーナリズム大賞 2021 特別賞を受賞。

セミナー参加費

- マスター・CRO・シニア会員・・・無料
- 法人会員・・・無料
- 特定会員（FRM・BCM-RM・RREM リスク診断士・FP・保険）・・・2,000 円（税込）
- 一般会員・・・2,500 円（税込）
- 非会員・・・5,000 円（税込）

☆ 参加費は、当日受付にてお支払いください。

☆ ご自身の SNS での紹介は歓迎です。※セミナー終了後、懇親会があります。（実費負担）

☆ 当日会場での録音・ビデオ撮影はお断り致しております。

【後援】 創新ネットシティ

FAX : 03-6700-0966

※ご記入いただいたデータは、参加申込手續処理、オープンセミナーなど当協会関連の今後のセミナー・講座のご案内ならびにリスクマネジメント情報提供のために使用いたします。

お名前						紹介者	
会員種別	マスター	シニア	特定会員	一般会員	法人会員	非会員	
e-mail アドレス				連絡先 TEL & FAX	TEL :		
					FAX :		